

概要

- 雑賀崎漁港では、約20年前に地域の卸売業者が廃業したことを契機に、漁師がその日獲ってきた魚を、船を着けたその場で直接販売する「船上販売（はた売り）」が発展
- 船上販売は地域の人気コンテンツとなり、多くのメディアで紹介され、近隣府県から多くの来訪者を呼び込んでいる一方、購入した魚をその場ですぐに味わえるような調理・飲食サービスはほとんどなく、来訪者が地域と関わる機会が少ない
- 雑賀崎漁港での海業の推進を中心に、地域経済への好循環を生み出し、地域の基幹産業である漁業の維持・来訪者と地域との交流・関係を深められる機会の創出を目指す



海業の取組概要

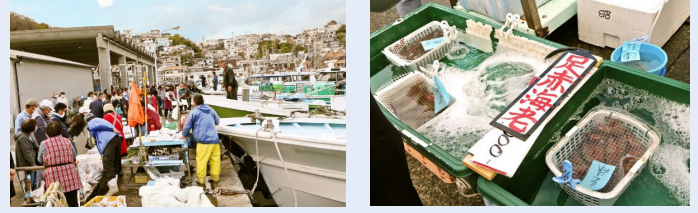


直接販売の実施エリア

雑賀崎漁港

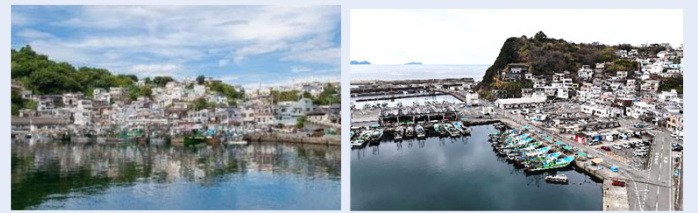
買った鮮魚を楽しむ飲食施設や調理施設、地域の食文化との体験を合わせることで、地域や漁業従事者の所得向上、来訪者と地域との交流・関係を深められる拠点を整備する

●船上販売の様子



名物の「足赤海老」や新鮮な魚を求めて多くの人が集まっている

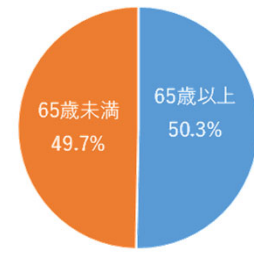
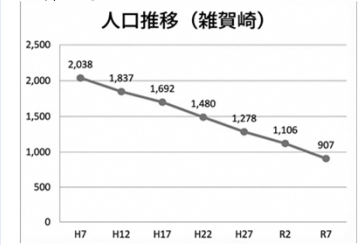
●漁港周辺の景観



「日本のアマルフィ」とよばれる独特の景観と漁業のまち

効果

交流・関係人口の創出による地域の持続性の維持



令和2年国勢調査基準人口世帯 令和7年8月1日現在
20年間で、総人口が半数程度（約46%減）に激減、高い高齢化率を示す

協力体制

- 和歌山市 シティプロモーション課
- 農林水産課・観光課
- （一社）和歌山市観光協会
- 雑賀崎地区連合自治会
- NPO法人 さいかざきポッセ
- 雑賀崎漁業協同組合

スケジュール

- R9 活用推進計画の策定
- R10 漁港施設を活用した飲食事業の展開

R 8	R 9	R 10
・海業推進に向けた漁港の活用可能性の検討	・活用推進計画の策定 ・飲食事業者の誘致	・漁港施設を活用した飲食事業の展開